



ふれあい活動が始まりました



「ふれあい活動」とは、いわゆる「縦割り活動」のことで、1年生から6年生が「縦のつながり」をより深め、異学年児童同士のふれあいを通して、相手を思いやる心や互いに助け合う心を育むことを目的とした活動です。この日も子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができました。朝の15分程の時間ですが、6年生を中心に毎回、自分たちでねらいや活動内容を考えて、主体的に活動してくれています。まさに、群馬県のめざしている群馬県の教育ビジョン「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す・自立した学習者」に合致し、県内に誇れる活動です。

プール開き



【プール清掃にご協力いただきました皆様に感謝です】

今年も児童の皆さんが楽しみにしているプールの時期がやってきました！
プール開きに先駆けて5月21日（火）プール清掃を行いました。今年も地域の消防団の皆様のご協力をいただき学校のプールがきれいになりました。ご協力いただきました皆さんに心より感謝申し上げます。

【保護者の皆様へ】

今年も猛暑が予想されております。学校では、熱中症を予防するため、体育やプールの実施等に暑さ指数（※WBGT）を元に実施の判断を行いますが、夏季休業中は、特に暑さ指数が高くなり、昨年同様、「厳重警戒」や「危険」の日が多くなることが想定されます。また、水温やプールサイドの気温も高温となりますことから、子どもたちの登下校も含め、健康及び安全第一の観点から、実施を見送ることとさせていただきますこと、ご了承ください。

※WBGT：人体の熱収支に与えるとされる①湿度、②日射・輻射、③気温からの指標です。

田植え体験で、食の大切さ、はたらくことの意義を学びます



【地域の方から田植えの方法を学びます】



【さあ、みんなで楽しく田植えです】



【保護者のみなさんにもお手伝いしていただきました】

6月12日(水)5年生が田植え体験をしました。当日は、天気に恵まれ、気温も高く、学校からの移動も大変でしたが、子どもたちは元気に田んぼに到着し、ボランティアの方から方法を教えていただいたあと、早速、田んぼの中に。みんなで楽しく田植えができました。当日は、地域のボランティアの方に加えて、多くの保護者の方にもお手伝いしていただきました。皆さんお忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございます。秋の収穫が今からとても楽しみです。時折、自分たちが植えた田んぼの稲の成長の様子を観察するのもよいですね。

朝から元気いっぱい朝運動



朝運動開始。今日も朝から元気な子どもたちの声が聞こえます。朝の健康観察後、全校児童が校庭に集合し、体を動かす朝行事。先生から今日の活動についてお話しを聞いた後、運動委員の子どもたちが見本を見せてくれ、その後、全員で楽しくサーキット、元気いっぱい体を動かします。この時期は、季候もよく体を動かすにはよい時期です。体を動かすことは本来「楽しい」「気持ちがいい」ことです。この日、子どもたちは、そのことを体感してくれているように見えました。

ある日の朝、児童のみなさんを校門であいさつしながら迎えているときに、大切に手に何かをもっている女の子が登校してきました。「おはようございます!」「何をもってるの?」と聞くと、女の子は「ダンゴムシ」と言って、私に見せてくれたあと、やさしく花壇の土の上にムシをおき、元気よく玄関に向かって走って行きました。おそらく道路にいたダンゴムシ。そのままにしておくと車にひかれてしまうと思ったのか?そんな、小さな生き物を大切にしている女の子のやさしさに触れ、私も優しい気持ちになるとともに、何だか心がほっこりしました。

校長室から

西小に着任して3ヶ月。途中、病気療養で不在の時期もあり、皆さんにはご迷惑やご心配をお掛けしました。この間、西小の先生方のがんばりと元気な子どもたちが、学校を支えてくれました。そこで、あらためて感じたことは、「学校は地域のコミュニティーの中心」であるということです。学校は、時代と共に、人(教員や子どもたち)や教育の中身(教育的価値や指導法等)は変われど、「地域の人が集い、語り、憩いの場」ということでは、普遍的な場所ということになるかも知れません。特に本校は、PTA役員の方々をはじめ、保護者の方々や地域の方々为学校に大変協力的であり、学校への愛着もすごく感じる地域です。これからの時代、少子化や価値の多様化への対応等、学校だけでは解決できない課題も多くなり、学校を取り巻く全てのみなさんの力の結束がますます必要になると思います。今後も地域に根ざした開かれた学校づくりをめざします。

